
とある模造の失敗作

夏越

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

とある模造の失敗作

【Nコード】

N2576BA

【作者名】

夏越

【あらすじ】

不完全になれなかつた模造品で失敗作な少年、球磨川 楔。
不完全へとなるために失敗作が学園都市に牙を向く。

プロローグ（前書き）

初投稿です。

よろしくお願ひします。

プロローグ

「あーあ『ビックリだよなー』」

黒髪の少年は欠伸をしながら暇そうに呟いた。
彼の名前は球磨川 楔。

不完全に成れなかった模造品で失敗作である。

「本当に世界って何が起きるか分かんないよね『あの僕の兄貴が
めだかちゃんと和解しちゃったし』」
オリジナル

懐かしむような嬉しそうな顔をして空を仰ぐ。

「まあ『まあ』」

「不完全に成れなかった欠陥だらけの僕だったら確実に改心なんてできるはず無いんだけどね」

不機嫌そうな、まるでおもちゃを失った子供のような顔になる楔。

「だけど」^{オリジナル}「兄貴が不完全で無くなった今」「僕が世界一不完全に近いモノって言うって良いのかな？」

空から自分の前方に視点をあわせる。

「だって僕は」

「今まで一度たりとも幸せとか勝利とか友情とかプラスなものを味わった事無く求める事無く」 『全て諦めて生きてきたんだから」

全てを諦めた口ぶりで不機嫌そうに呟いた。

「そう」 『僕は過負荷としても失敗作なんだよなあ」

楔は静かに歩き出した。

向かうは学園都市。

自身がもっと不幸にもっと不完全に近づぐために。

「模造品は模造品らしくオリジナル兄貴の真似事でもするかなあ？」 『エリー
ト抹殺とか？」

「まあ無理だろうけど」

こうしているはずの無い^{イレギュラー}失敗作を交えて物語りは無常にも始まるの
だった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2576ba/>

とある模造の失敗作

2012年1月6日16時48分発行